



夏の環境一斉行動週間に 78事業所、6,236人

地域ぐるみ環境ISO研究会が地域内の事業所に呼びかけて「2019夏の環境一斉行動週間」を6月1日(土)から7日(金)までの1週間実施しました。

取組行動は①「ノーマイカー」②「ライトダウン」③「日よけ準備・エアコン掃除」の3つ。

参加報告書が78事業所から届き、行動の参加者数は6,236人となりました。3つの行動への参加は次のとおりです。

19春の環境一斉行動週間

- ◆取組事業所 78事業所 (+12)
- ◆取組人数 6,236人 (-1,128)
- ① ノーマイカー 9,890人
- ② ライトダウン 14,760人
- ③ 防災セット 2,713人

多くの事業所でご協力をいただきましたことお礼申し上げます。前回に引き続き、南信州いいむす21の必須項目として浸透してきたこともあり、前回に加えて多くの事業所の皆様にご参加いただくことができました。今後とも多くの事業所の皆様の取組みによる環境改善活動が広がりますよう、皆様からもお知り合いの事業所等へ参加の呼びかけを引き続きお願いします。

参加報告書で届けられた「工夫したこと」「ご意見・ご感想・メッセージ」のほんの一部を紹介します。

- ・日中は家のカーテンを閉めて室温が上がらない様にしています。
- ・エアコンのフィルター掃除に加え全体のクリーニングもしました。
- ・毎年、ダイニングの窓辺に、朝顔、クレマチス、ゴーヤ等で緑のカーテンを作っています。
- ・車は混雑すると時間が読めませんが、自転車は時間が一定しています。朝は自転車の方が早く着くので、エコな上に気持ちよくていいなあと感じています。
- ・よしずを利用した暑さ対策で、エアコン使用の抑制に努めています。
- ・日よけ対策のネットや朝顔、沖縄すずめ瓜の苗を植えて準備を行

いました。環境の変化に子ども達も関心を持つことが出来ました。



激動の時代を生き抜く 省エネセミナーに参加

6月20日、飯田市役所で「激動の時代を生き抜く」と題して飯田市主催の省エネセミナーが開催されました。このセミナーは、昨年10月18日に続く2回目で、研究会、南信州いいむす21の取組み事業所など54名が参加しました。



「節電」と「省エネ」は普段私たちがよく使う言葉ですが、この2つの言葉を使い分けている人は少ないのではないのでしょうか。

セミナーの中では、「節電」は特定の期間を決めて使用する電気の量を少なくすること、「省エネ」は同じ目的を達成するうえで使用するエネルギー量を少なくすることであると解説いただきました。省エネに取り組む前に、省エネとはどういうことか、何を指すのか共通の認識を持つのと持たないのでは、省エネの取り組み方、そして結果が大きく変わってきます。

また、省エネというとLEDや最新の空調機など設備投資を伴うイメージがありますが、実際には運用の適正化や点検・整備・チューニングなど今ある機器を正しく使うことでも大きな省エネ効果を上げることができるとし

て、年間約3,000万円の経費を削減した事例を紹介いただきました。

普段私たちが病気にかかった時、医師の診断を受けるのと同じように、省エネを進めるにあたっては専門機関による省エネ診断を受けることが省エネの近道であるとも説明がありました。

今回のセミナーをきっかけにまずは省エネについて考えてみるころから始めてみてはいかがでしょうか。

南信州いいむす21

～続々と新規格での認証進む～

昨年10月1日にリリースされた南信州いいむす21の認証審査も多く事業所からお申込みいただき、続々と認証される企業が増えてきています。

また、取組み宣言をしてみたものの、どのように進めたらよいかわからないといった相談もいただいています。ご興味のある事業所の皆さん、ぜひ南信州広域連合(0265-53-7100)へご一報いただければと思います。



5/13に認定証を受領された皆様



7/2に認定証を受領された皆様

【ご意見、お問合せ】、【配信解除】
福岡健志(多摩川精機機株) 研究会事務局
takeshi-fukuoka@tamagawa-seiki.co.jp
小林晋(飯田市) 研究会事務局
ic1887@city.iida.nagano.jp